

平成 29 年 1 月 14 日

P T A 第 6 回運営委員会

# あしたのあさひ



～ P T アクションと校長室をつなぐ～

県立旭高等学校長 古谷康司

**新年 明けましておめでとうございます。初日の出を見て、旭が元気よく昇るイメージを再確認できました。親子で輝く旭高校の充実を目指し、学校も保護者の皆様と一緒に頑張ります。今年もよろしくお願いします。**

今年度も残り少なくなり、振り返ると P T アクションもひとつ上を進んでいると実感しています。5月の P T A 総会では卒業生の話が定着し、新入生の保護者から大変好評でした。学年委員会ではキャリア教育を考えるバスツアーが新たに実施されました。整備委員会ではイベントの飾りがよく目を引き付けています。広報委員会では学校の様子が良くわかる明るい広報誌にまとめてくれました。

皆様の取組に敬意をあらうとともに、改めて感謝申し上げます。

平成 29 年度から「コミュニティ・スクール」の指定を受けました。すでに多くの中学校では行われていますが、地域を大切に、地域から応援をいただいている旭高校ならではの取組をしたいと考えています。P T アクションの力を加えて、より一層、旭高校の生徒を輝かせます。

12 月 15 日に韓国の木浦第一女子高校が来校し、国際交流をしました。午前中は英語と音楽の授業に参加してもらい、お互いに英語で自己紹介をしたり、教わったハングルで日本の歌を、そしてみんなで最後に「世界にひとつだけの花」を日本語で歌ったりしました。短い時間でしたが、あっという間に仲良くなり、記念写真を撮影して別れを惜しんでいました。昼は生徒会や有志の生徒と一緒に昼食の買い物をした後のランチミーティングで、韓国の高校生の勉強時間が長いことに本校生徒は驚いていました。午後になり、華道部員と茶道を体験し、ダンス部員とダンス交流をしました。ちなみに韓国に部活動はありません。

韓国の生徒さんには、旭の生徒の優しさがすぐに伝わったようで、安心して話をしていました。帰国後、日本の印象が素晴らしいものになったと連絡がありました。もちろん旭の生徒も、もっと交流したいと声を上げています。